

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日:令和7年1月6日

事業所名: 西条市児童発達支援かがやき園

事業所職員及び保護者の方の御意見を踏まえ、自己評価の結果を公表します。
評価を踏まえて、事業所の運営における課題点及び改善すべき点を確認し、今後の運営に活かしていきます。

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた改善内容・改善目標	
		はい	どちらともいえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保		2	3	・園用のトイレがないので不便。 ・個室が無く不便な時がある。	10					・個室が無いためリハビリの際は、館内の部屋を借りている。 ・園用のトイレが無い為、使い方など細かく打ち合わせをしている。
	2 職員の適切な配置		5		・様々な状態の児童を受け入れているので、職員の配置を考えている。	11					・今後もその日の利用人数に応じて対応を考えていく。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障がい者の特性に応じた設備整備	1	1	3	・園庭があるが使用できない。 ・手洗い場が少ない。 ・写真や線画など視覚的支援も活用している。 ・小集団活動に参加出来ない時間は、個別活動に切り替える。	11				・視覚的にもわかりやすく整えられていると思います。	・今後も療育指導の先生に助言をいただき、視覚的支援を活用しながら環境づくりについて検討を重ねる。
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保		2	3	・湿度が高くカビが生えやすい。 ・丁寧な掃除や除菌を定期的に行う。トイレにも園用のハンドソープを持っていく。	11					・除湿剤を置く、年間を通して換気をするなどの工夫をしている。今後も丁寧な掃除、除菌を続けていく。
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	5			・その日のリーダーを中心に療育の確認や振り返りを行い、次に繋げるようにしている。						・今後も全職員で打ち合わせ、振り返りを行い、より良い療育に繋げていく。
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	5			・毎月療育指導の先生に来てもらい、療育内の様子や視覚的に見てもらい、改善に繋げている。						・今後も外部から先生に来ていただき、療育内の様子などを見てもらい、カンファレンスを行い改善につなげていく。
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	1	4		・コロナ禍は、落ち着いてきているが、まだまだ油断が出来ない状況のため参加できていない。 ・研修の案内は目を通すようにしている。オンラインで可能な場合は、参加している。						・研修に行く機会は少ないため、療育指導や相談の先生方から学び、実施することを続けていく。
	1 適切に支援プログラムが作成、公表されているか	1	4		・かがやき園での支援プログラムを作成している。	10			1	・療育については十分配慮された支援であるが、その他、子の特性について分からないので評価できない。	・支援プログラムに基づき、今後も良い療育に繋げていく。

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた 改善内容・改善目標
		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	
適切な 支援の 提供	2	5			・療育の中で一人一人に合った問題点や目標を絞り、コミュニケーションを取りながら支援内容や支援計画を作成している。	9			1	・保護者との話の中で目標など高すぎた場合には少し下げ、その子にあった支援計画の作成をしていく。
	3	5			・具体的で保護者にわかりやすい支援内容の記載を心がけている。 ・個別に応じた支援内容を5領域に分けて考慮し記載している。	9			1	・まだ利用し始めたばかりなので支援計画の説明を受けていないため ・今後も引き続き保護者に分かりやすい支援内容の記載と、個々に応じた支援内容の作成、記載をしていく。
	4	5			・スケジュールの中で個別の活動と集団の活動を取り入れるようにしている。 ・子どもの様子を見て一人一人に応じた支援計画を作成している。					・今後も一人一人のニーズに合わせて、個別の活動、集団活動を取り入れながら支援計画を作成する。
適切な 支援の 提供（ 続き）	5	5			・計画に沿って支援を進めている。 ・一人一人に応じた支援が行えるようにしている。	10			1	・支援計画の見直しを行いながら、計画に沿って支援を進めていく。
	6	4	1		・その日のリーダーを中心に活動プログラムについて話し合う。					・今後も職員間で意見を出し合いながらプログラムを考えていく。
	7	4	1		・毎月の便りで設定。毎回固定しないようにスケジュールやプログラムを考えている。	10	1			・季節感覚も大切に様々な活動をしていただいていると思います。本物のお金を使った買い物等色々な経験をさせてもらっています。 ・今後も子どもに応じてスケジュールやプログラムを考慮しながら、固定化しないようプログラムを考えていく。
	8			5	・長期休暇中の相談については、電話やメールにて対応している。					・長期休暇の際は、電話やメールでの対応を続けていく。
	9	5			・毎朝必ず打ち合わせ、予定児童についての情報の確認を行っている。リーダーを中心に準備の見直しも行う。					・今後も毎朝の打ち合わせを行い、リーダーを中心に確認を行っていく。
	10	5			・支援終了後は、毎日必ず振り返りを行い個人の記録をする。気付いた事は、全職員で共有している。					・今後も毎日の振り返り、記録を行い気付いた事を全職員で共有し、次の療育に繋げていく。
11	5			・子どもの様子、保護者の方からの相談など個別に記録に残している。気になることがある時は、意見交換をしている。					・今後も個別に記録し、振り返りを行い、意見交換なども行いながら、次の療育に繋げていく。	

区分	チェック項目	事業所の現状評価			保護者の方の評価				評価を踏まえた 改善内容・改善目標	
		はい	どちらとも いえなし	いいえ	はい	どちらとも いえなし	いいえ	わからない		保護者の方のご意見
12	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	5			/	/	/	/	/	・半年または必要に応じて、目標や支援内容など適切であったか見直しを行う。

区分	チェック項目	事業所の現状評価			保護者の方の評価				評価を踏まえた 改善内容・改善目標		
		はい	どちらとも いえない	いいえ	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見	
関係機関との連携	1 子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議への参画	5			・ケース会議の日に担当職員が調整して参加している。その後全職員に報告、話し合いを行っている。					・今後も担当職員が調整し参加、全職員に情報共有を行っていく。	
	2 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	5			・医療的ケアができる職員がいない為、保護者が行う。他機関との情報共有は、保護者、相談支援専門員から行っている。					・今後も保護者や地域の保健、医療、福祉、保育、教育等の関係機関との連携した支援を実施していく。	
	3 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	5			・月に二回PTリハビリの担当、医療機関の先生、保護者からも助言を頂く。					・今後も主治医や医療機関等の連絡体制を整えていく。	
	4 児童発達支援事業所及び放課後等デイサービス事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	5			・必要に応じて情報共有しているが、もっと連携する必要がある。 ・保護者や関係機関からの要望がある時には、情報共有できるようにしている。					・今後も就園、就学に向けて支援内容等を的確に情報共有する。	
	5 他の障害福祉サービス事業所等への円滑な移行支援のため、それまでの支援内容等についての十分な情報提供	2	3		・相談支援専門員を通して情報提供を行っている。					・今後も円滑に移行できるように必要に応じて情報提供を行う。	
	6 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	3	2		・月に一度の療育指導を通して助言をいただいているが、現在は十分な研修や連携は行われていない。					・引き続き指導していただく。研修などがある場合には積極的に参加する。	
	7 児童発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障がいのない子どもと活動する機会の提供		1	4	・未就園児は、個々に親子で児童館などの教室に参加している。	2		2	7	・利用を始めたばかりでわからない。 ・ないほうがいい。今のままがいい。	・園として交流はないが、活動する機会があれば参加する。
	8 事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営			5	・事業所の行事へ地域住民は招待していない。					・園としては地域の事業に参加していないが、個々には参加している。無理のない範囲で参加する。	

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた改善内容・改善目標			
		はい	どちらともいえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見		
保護者への説明責任・連携支援	1	支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	5			・保護者に分かるように丁寧に説明している。 ・利用者負担等については、契約時に説明している。	11					・契約時や、分からないことなどの説明を引き続き丁寧に行い、支援内容については契約後も個々に説明を行う。	
	2	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	5			・保護者に時間を作ってもらい支援内容の説明を行っている。 ・支援内容の説明を行い同意のサインをいただいている。	10			1		・今後も丁寧に説明を行い保護者と情報共有をしながら、療育を行う。	
	3	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	3		2	・児童の状態ににんじてどのように対応したらいいのかなど、療育の中で保護者に学んでいただいている。	5			2	4	・面談の時に痾癢時の対応の確認をしました。	・今後も丁寧な対応を心がける。
	4	子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	5			・その都度子どもの様子を保護者に伝えている。出来なかった事は、次回への課題につなげる。 ・療育前後に保護者とコミュニケーションを取り、情報共有を行っている。	11					・毎回活動の内容や子どもの様子を詳しく伝えてくれます。	・今後も児童の情報交換をする中で、次回へ繋げていけるよう、考えていく。
	5	保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	3		2	・その都度相談がある時には聞いている。 ・健康相談や発達相談などの専門的な先生と話す機会を作っている。	11						・相談しやすい場になるように、保護者との信頼関係を築いていく。
	6	父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	2		3	・以前は、親の会があったが現在は無い。親同士のティータイムの時間に意見交換を行っていた。	4	2	1	4	4	・未満時クラスの時の保護者だけの時間よかったです。その時の連携があります。	・コロナ前のようにまた、保護者同士が話し合える時間を作れるようにする。
	7	子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	4		1	・苦情を受けた場合には、全職員が共通意識をもって対応。 ・苦情対策委員会を作成している。	6				5	・子どもが「〇〇したい」と言った事に対応してくれてその出来事をお迎えの時に話してくれました。 ・苦情を言った記憶はないが何かあった時、先生だけが気付いていた等、色々説明してくれるので安心です。	・苦情に対しては、真摯に受け止め保護者の気持ちに寄り添いながら、全職員が共通意識を持ち対応する。
	8	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	4		1	・コミュニケーションがとれるよう、適切な支援方法を考える。	10				1		・今後も児童の特性に応じた支援方法を考え、意思疎通ができるようにしていく。

区分	チェック項目	事業所の現状評価			保護者の方の評価				評価を踏まえた 改善内容・改善目標		
		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらとも いえない	いいえ		わからない	保護者の方のご意見
	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	5			・毎月園便りを作成し情報を発信している。	8			3	・毎月の園便りに対して質問を受けた場合には、個別に対応を行う。
	10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	5			・個人情報の取り扱いについては、全職員間で確認している。	10			1	・今後も全職員での確認を継続し、個人情報を大切に扱うことを徹底する。
非常時等の対応	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	4	1		・保護者の目につくところへマニュアルを配置している。 ・マニュアルによっては、周知徹底できていないものがあつた。	7	2		1	・マニュアルによっては、周知徹底できていないものがあつたので、部屋に置いてある冊子を個々に保護者へ声かけをし見ていただく。
	2	非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	5			・総合福祉センター全体で定期的に訓練を実施している。 ・地震、津波、火災を想定した訓練を行っている。	8		1	2	・総合福祉センター全体の避難訓練に参加することを続ける。参加できなかった場合、単独での訓練も実施する。
	3	服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況の確認の実施	5			・必ず保護者に確認をしている。・契約時に記入いただく書類に子どもの状況の記入をお願いしている。					・今後も個人票への記入をお願いし、保護者へ確認を行い全職員共有する。
	4	食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	5			・給食設備はないので、全員お弁当を持って来てもらっている。 ・事前に保護者へ確認を行う。 ・保護者からの情報に基づいて対応している。					・今後も児童の身体の状態に合うお弁当を用意していただく。 ・職員間で情報共有を行い、正確に把握する。
	5	安全管理の徹底	4	1		・必要な研修は行っている。園外に出る時などは、前もってシミュレーションしてから行うようにしている。 ・安全計画を作成し、研修や訓練を定期的に行っている。					・今後も安全管理(事前のシミュレーションや研修等)を行い安全に療育を行う。
	6	家族等との連携を図るため、安全計画に基づく取組内容についての家族等へ周知	4	1		・安全計画作成の冊子を見てもらう。 ・訓練などについて園便りに掲載している。					・新しい家庭が多いのもう一度声掛けをして安全計画の周知を図る。

区分	チェック項目	事業所の現状評価			保護者の方の評価				評価を踏まえた 改善内容・改善目標		
		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらとも いえない	いいえ		わからない	保護者の方のご意見
7	ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	5			・事例集を作成し、その日のうちに原因と対応についての話し合いを行っている。						・事例について話し合いを行うとともに、安全に過ごせるように環境の見直しを行う。今後もファイリングし、いつでも情報共有できるようにする。
	虐待を防止するための職員研修機会の確保等の適切な対応	5			・虐待を防止するための園内研修を全職員で行っている。						・虐待を防止するための園内研修を定期的に行うとともに、防止対策を見直し整える。
	やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	2	3		・保護者同伴なので何かある時には、職員より保護者に対応していただく。・身体拘束等の園内研修を全職員で行っている。						・身体拘束等の園内研修を定期的に行っている。何かがある時には、速やかに職員、上司に報告する。